

2026年度一般選抜試験問題

国 語

注 意 事 項

1 ~ 27 を解答しなさい。

1 マークシート式解答用紙が1枚ある。受験番号欄に受験番号5桁を記入し、マーク欄の該当するところをマークしなさい。

氏名を記入してはならない。なお、記入した受験番号やマークが誤っている場合や無記入の場合は、国語の試験が無効となる。

(例) 受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークして下さい。

受験番号				
0	0	6	0	3
<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2 マークシート式解答用紙に科目名を記入し、その科目コードをマークしなさい。

科目名	国 語	
<input type="radio"/> 英語	<input type="radio"/> 数学 I ・ 数学 A	<input type="radio"/> 基礎学力試験
<input checked="" type="radio"/> 国語	<input type="radio"/> 生物基礎 ・ 生物	
	<input type="radio"/> 化学基礎 ・ 化学	
	<input type="radio"/> 物理基礎 ・ 物理	

注意事項の続きは本冊子の裏にあります

I 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

経済学は、そのソウセイ期から現代にいたるまで、一国が経済的に発展することを、国内における経済的富が蓄積されることであると捉えて、それを社会的善の最も重要な達成目標としてきた。国内で生産された財・サービスの市場価値の総和を表す国内総生産(GDP)は、このような社会的善を表す代表的な評価指標である。そして、市場競争という「見えざる手」によって、意図せざる仕方で、利己心こそが経済発展を導くという、一見

I

な考え方が様々に検証されてきた。

市民は、最低限のマナーを備えてさえいれば、利己的動機だけで最良の社会的善を導くことができる。道徳的、社会的大義を追求するような善行は、社会的善にとってマイナスになりかねない。

今から300年ほど昔、オランダ生まれの医者バーナード・デ・マンデヴィルは「蜂の寓話——私悪すなわち公益」を出版して、個人の利己的な行動が意図せずに社会全体の経済的豊かさをもたらすという考え方を、初めて明確に示した。贅沢やキョエイ心といった個人の悪徳が実は経済活動を刺激し、結果として社会的富を増大させる。善行が社会に利益をもたらすわけではない。マンデヴィルのこの考え方は、後の経済学、特に経済学の父とされるアダム・スミスによる見えざる手の概念に多大な影響を与えることになる。

スミスは、個人が利己的利益を追求することが、市場競争を通じて、まるで見えざる手に導かれるかのように、経済的富の増大に貢献すると論じた。その一方で、経済的富とは別の社会的目的、例えば社会福祉や公平性に対しては、利己心があまり貢献できないことも認識されていた。スミスは国家の役割をそこに位置付けようとしたが、残念ながら、深い洞察と広範囲の意識的な社会貢献の必要性を認識するには至らなかった。

スミスは、利己心の中にもいくばくかの道徳があるために、相手とシヨウトツせず(ウ)に取引を円滑に進めることができるとするなど、柔軟な視点も示していた。しかし、それは社会に積極的に貢献したいとする大義からはおよそかけ離れた、営利取引者の最低限のマナーに過ぎない。経済活動が環境に及ぼす影響に至ってはそもそも考慮の対象にすらならなかった。

スミスのように、利己心が市場を通じて社会的善に貢献すること、利己心と社会的善が倫理的に矛盾しないことを前提とするこのスタンスは、「市場至上主義イデオロギー」と称される。市場至上主義イデオロギーは、今日に至るまで経済学の高等教育に深く入り込んでいる。そのため、<sup>A</sup>経済的富以外の社会貢献については副次的な扱いにされがちになる。

例えば、経済学の講義においては、市場競争が経済的に無駄のない、効率的な資源配分をもたらすことを数理的に華麗に証明して見せる。(ここは期末試験にも出題しやすい。)その一方で、配分の公正や平等については歯切れの悪い説明に終始する。(これは試験には出しにくい。)高等教育の現場において、これらを副次的でなく説明することと、経済学の基礎についての理解を促進することをうまく両立させるのは困難にさえ感じられる。

後述する現代の主要な社会問題に照らしてみるならば、教育の現場において市場至上主義イデオロギーに固執することは時代の<sup>(E)</sup>ヨウセイにそぐわない。<sup>B</sup>ステレオタイプ化された経済学のスタンスにおいては、市民の意識的な社会貢献への意思は、不必要とされるか、副次的な意味しか持たない。しかし、経済的富以外の社会貢献や社会的責任についてはどうだろうか。それらは、市民の意識的な大義の実践抜きでは達成できない。

<sup>C</sup>大義を実践するためには、まずは関心のある社会問題に何らかの形でコミットして、我が身のことのように関与することが必要だ。<sup>D</sup>しかしこのコミットメントはひと時の気まぐれに終わることが多い。利己心を超えて人に尽くしたいと思っても、結局は私利私欲に負けてしまい、気持ちが続かないのだ。

このことは喫煙者の葛藤<sup>E</sup>にもなぞらえられる。喫煙は体に悪いことだとわかっていてもついつい煙草<sup>たばこ</sup>を吸ってしまう。そこで、煙草を遠ざけることのできる方法をいろいろ模索する。外出時には煙草を持参しないとか、かかりつけ医に煙草の害を口酸つばく説明してもらおうとか、いろいろ工夫してみる。それでも誰かから煙草を勧められると、ついつい悪い癖が出てしまう。大義もまたしかりである。私利私欲を超えた公共の利益に自らを持続的に関与させ、公共への高い忠実を維持することは並大抵のことではない。

人は、まず問題についての知識と理解を深めようとする。それによって問題に関心をもつようになり、問題の解決が利己心を

超えた倫理的な喜びをもたらすと感じるようになる。さらに、この問題に自らがコミットすることにより、問題解決から得られる喜びが一層高められる。こうして、この問題の解決を自らの大義と定め、より具体的に行動するようになる。しかし、このような

な動機は、Ⅱ 外的な要因に左右されやすく、何らかの工夫がないことには脆く<sup>もろ</sup>て持続しそうにない。大義の全うの難しさには別の理由もある。一般に、個人の社会貢献は思ったほど大きな成果を生まない。このことを知ると、コミットメントは弱まり、持続できなくなる。ならば、同じような大義をもつ人同士が集まって協力すればどうだろうか。そうすれば一人では達成できないもっと大きな社会貢献も持続できるのではないだろうか。

大義の実践にはこのような組織作りの役割がとて大きいと考えられる。特に法人企業は、単なる個人の集合体をはるかに超えた社会貢献をもたらすことができるはずだ。企業が商業的な方法によって、営利追求とともに社会的責任をも果たすならば、市民は従業員としてその企業に参加して、企業と仕事に対する高い忠誠心とエンゲージメントを保ちながら、自らの大義を実現できるかもしれない。このように、企業や組織には、市民の大義の実現のためのプラットフォームになること、そしてさらに大規模で効果的な社会貢献を持続的に達成する装置になることが期待される。従業員にとって、企業は生活の糧を得るためだけでなく、Ⅲ のための居心地のいい場所になりうる。

では、現代における最も重要な社会問題とは何か。現代社会は、地球環境の変化と市民の意識の変化に伴って、非常に多くの課題を抱える状況になっている。その主要なものはサステナビリティ<sup>F</sup>(持続可能性)という理念に集約することができる。サステナビリティとは、環境、社会、経済の三つの側面を総合的に考慮し、未来世代にも十分な資源や環境条件を提供することを目指すなければならないという理念である。

例えば、環境的視点から、サステナビリティは、経済活動が環境に与える影響を最小限に抑え、生態系を保護することを目指す。森林バツサイ<sup>オ</sup>、生物多様性の減少が生態系に悪影響を及ぼしている状況を何とかしなければいけない。

中でも気候変動は最も深刻な環境問題である。地球温暖化が進行し、極端な気象事象や海面上昇が問題となる。気候変動問題の解決のため、CO<sub>2</sub><sup>2</sup>(あるいは温室効果ガス)の排出をグローバルに削減し、化石燃料に頼らない持続可能なエネルギー方式へ

転換しなければならない。

社会的視点から、サステナビリティは、貧困、格差、社会的不平等を深刻な社会問題と捉えて、公平な社会を追求し、誰もが機会と福祉にアクセスできることを目指す。健康や労働条件の改善、教育の普及、食品の安全、住環境の安全、社会的包摂、人權の尊重など、生活の質の向上を目指す。

経済的視点から、サステナビリティは、鉱物資源、水、食料などの枯渇を重要課題とし、持続可能な資源管理を目指す。経済活動が未来世代にわたって持続可能であり、資源の適切な管理とともに、経済成長の健全性を、個人、企業、政府など、様々なステークホルダー（関係当事者）に求めていく。

産業革命以降、世界はこのようなサステナビリティに注意を払わず、気付きすらせずに経済的富の蓄積に邁進<sup>まいしん</sup>してきた。その結果、現代において環境や社会は大きなダメージを受けている。経済発展によって、CO<sub>2</sub>の排出量が劇的に増加し、気候変動が深刻化してきた。このままでは近い将来において、生物種絶滅や自然災害といった不可逆で壊滅的な被害が地球規模で起こり、環境、経済、社会といった様々な側面に大きなダメージが生じてしまう。

サステナビリティが意味する現代の社会問題は、総括すると、過度の経済成長の結果、環境問題が深刻化し、それが世界市民の経済的生活水準の問題を超えて生命や尊厳をおびやかす、未来世代に不可逆な損失を与えてしまうことをいかに回避して、文化的に豊かな生活を持続させることができるか、ということだ。利己心と見えざる手だけでは、これは解決されない。世界市民が意識的にこの解決に取り組まなければならない。世界市民が未来世代を心配し、サステナビリティの大義を持ってこの問題に深く関与しなければならない。

（松島齊『サステナビリティの経済哲学』による 一部改変）

問1 傍線部(ア)～(オ)に該当する漢字を含むものを、次の各群の a～e の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

1

5

(ア)

ソウセイ

1

- a 書の大家としてソウヘキを成す
- b ソウケイな判断を避ける
- c シャソウから辺りを眺める
- d 長年の悪習をイツソウする
- e 矢でソウシヨウを受ける

(イ)

キヨエイ

2

- a 面会をキヨゼツする
- b 記憶が胸にキヨライする
- c 教科書にジュンキヨする
- d 強敵を前にキヨセイを張る
- e 一代でキヨマンの富を築く

(ウ)

シヨウトツ

3

- a 背景をシヨウサイに調べる
- b 稲作をシヨウレイする
- c 他国の内政にカンシヨウする
- d 予算のセッシヨウに当たる
- e 実権をシヨウアクする

(工)

ヨウセイ

4

a 議会にセイガン書を提出する

b セイダイな儀式が執り行われる

c 選手代表としてセンセイする

d 彼は文学にセイツウしている

e セイサンな鉄道事故が起きる

(オ)

バツサイ

5

a 岩石をフンサイする

b 投票でサイケツをとる

c スイサイ画を展示する

d 支払いをサイソクする

e 的確なサイハイを振るう

問2 空欄

い。I

6

I

II

7

III

III

8

に入る語として最も適当なものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

I a 対比的

II a 意識的

III a 自己顕示

b 客観的

b 一般的

b 自己実現

c 逆説的

c 一時的

c 自己暗示

d 普遍的

d 感傷的

d 自己管理

e 進歩的

e 倫理的

e 自己欺瞞ごまか

問3 傍線部A「経済的富以外の社会貢献については副次的な扱いにされがちになる」とあるが、このような状況になる理由の説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

9

- a 経済活動は市場競争を通じて社会的善に貢献するが、個人は最低限のマナーを備えてさえいれば最良の社会的善を導くことができるから
- b 個人が利己的利益を追求することは社会全体の経済的豊かさをもたらすのに加え、社会福祉や公平性の実現に対しても利己心が貢献するから
- c 市場競争が効率的な資源配分をもたらすことは数理的に証明し得るが、道徳的な行為がもたらす結果については立証することが難しいから
- d 近代資本主義が台頭して以来、国家は自国の経済的な発展だけを重視し続け、それ以外の社会貢献については重視していなかったから
- e 経済学は経済的富の蓄積を社会的善の最重要な達成目標としてきたが、社会的大義を追求するような善行は社会的善にはマイナスになるから

問4 傍線部B・Eの意味として最も適当なものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

B

10

・ E

11

B ステレオタイプ化された

a 定型化された

b 偏見に満ちた

c 新鮮味のない

d 理念が曖昧な

e どっちつかずの

E 葛藤

a 相反する行動をとること

b 深刻なストレス状態に陥ること

c 結論を出せずに苦悩すること

d 他人と対立していがみあうこと

e 一向に変化が起きないこと

問5 傍線部C「大義を実践する」とあるが、ここでいう「大義」とはどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

12

- a 経済的發展に貢献し社会を豊かにするもの
- b 私利私欲を超えた公共の利益に寄与するもの
- c 道徳心と倫理観を持って他者に尽くすもの
- d 市場至上主義イデオロギーを体現するもの
- e 現在の地球環境問題の解決に取り組むもの

問6 傍線部D「しかしこのコミットメントはひと時の気まぐれに終わることが多い」とあるが、「ひと時の気まぐれ」で終わらないために筆者が挙げている内容として**適当でないもの**を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

13

- a 関心のある社会問題に、何らかの形で積極的にかかわり、相応の心構えで責任をもって取り組むこと
- b 一人では達成できないとあきらめることなく、同じような大義をもつ人同士が集まって協力し合うこと
- c 市民の大義を実現するため、営利追求とともに社会的責任を果たすことが可能な企業に所属すること
- d 社会問題についての知識と理解を深め、その問題の解決が自分に道徳的な喜びをもたらすと考えること
- e 問題の解決を自らの大義と定め、私利私欲に負けて中途半端な状態で終わることがないように努めること

問7 傍線部F「サステナビリティ(持続可能性)」という理念」とあるが、具体的にはどのように展開されるべきだと筆者は考えているか。その説明として**適当でないもの**を、次のa～eの中から一つ選びなさい。

14

- a 環境、社会、経済において、未来世代が文化的で豊かな生活を持続するうえで十分な資源と環境を提供する。
- b 環境問題の主たる原因である企業に社会的責任として健全な経済成長を求め、持続可能な資源管理をはかる。
- c 経済的な格差や、社会的な不平等などのない平等な環境や教育の機会を提供し、生活の質の向上を目指す。
- d 化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を進めるなど、経済活動が環境に与える影響を最小限に抑える。
- e 生物種絶滅や、自然災害における不可逆な被害を回避するため、森林の保存や生物多様性の保全に努める。

問8 本文の内容に合致するものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

15

- a 産業革命以降、人類は経済活動が環境に及ぼす影響を考慮に入れつつも、経済的富の蓄積に邁進してきたために、未来世代の生活を脅かす結果となった。
- b バーナード・デ・マンデヴィルは、悪徳から善行へと見なされるようになった贅沢や個人の利己的な行動が、社会全体の経済的豊かさをもたらすと論じた。
- c アダム・スミスは、利己心と見えざる手が経済的富の増大に貢献するものの、円滑な取引のためには、個人が道徳心を発揮することが必要だと論じた。
- d 市場至上主義イデオロギーは教育の現場にも深く浸透しているが、現代の経済問題を解決するためには、主体的な社会貢献への意思を持つことが必要である。
- e 世界市民がサステナビリティの大義を持ち、壊滅的な地球規模の被害により未来世代の生存や尊厳が不可逆的に脅かされることを回避しなければならない。

## II 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

誰しも「人に言えない場所」というものがいくつもあるものだろう。お気に入りであったり、他の人に知られるのがはばかられたりするところがあるというのは、人生のシンプク(ア)の豊かさを示しているように思えてならない。秘密というのは、その人の深さをあらわしているともいえるのだ。ということでは私は、誰かと知り合ったときに、陰に陽に「そう簡単には教えられないお気に入り」の場所を聞き出す努力をすることにしていて、それが交換できた相手を、「友達になった」と思うようにしている。

そしていつも思うのは、どうしてたいの人の「秘密のお気に入り」の場所は、静謐(セツヒツ)で心安らかで、しかも多くは電波もネットも入らないのだろう、ということだ。流行りの「デジタル・デトックス」をやっているという人には、よく理解していただけたら。やはり情報そのものには、排出されなければならない毒という側面があるのかもしれない。

などということを考えながら、今もお気に入りの山の中を歩いている。東京都最高峰の雲取山(クモトリヤマ)からのさびれた巻道も、私の「人に言いたくないお気に入り」の場所のひとつだ。都下では残念ながら電波が届かない場所の方が少ないので、スマホは電源が切つてあるにすぎないけれど、それなりに「デジタル・デトックス」を地で行く行程は、少なくとも下山するまでは、一片の情報(イ)のカイニユウも許さない、自分だけの固有結界を与えてくれる。

安心しきった刹那、突然、けたたましいバイブレーションが鳴った。驚いて見渡しても誰もいない。鳴っているのは自分のザックだった。二〇一一年の震災のさい、非常連絡用にNTTドコモの携帯電話を追加で使用していた。緊急時のつながりやすさも考慮し、いつも使っているスマホと二台持ちをしていた。前の週の被災地支援で持参した後でザックに入れっぱなしにしたまま、すっかり失念してしまっていたのである。

アワてて出た電話の内容は、「あなたのクレジットカードについて、通常の利用パターンとは異なる利用が検知され、不正利用が疑われると診断がついたので、急ぎ確認したい」との、カード会社からの問い合わせだった。「現在、どちらにいますか？」「奥多摩を下山中です。」「え？ 日本の山の中？」「不正利用はどちらでされたんですか？」「オーストラリアでのネットショッピング

グです。」

奥多摩の山中でさえ、私たちはグローバルなネットワークとダイレクトにつながっている。この現代社会では、私たちは常に情報に包囲されている。重要なのは、それが私たちの意思や能力にかかわらない、という点だ。先の例でいえば、見事にネットショッピングにおける不正利用を防いだつもりでいるが、これは私が「情報強者」だからだろうか。私はそもそも、デジタル・デトックスのつもりで山の中にいたのだ。

同じ赤いケータイは、私に、自分をもっとも「情報弱者」であった、あの瞬間を痛烈に思い出させる。あの時ほど「自らの弱さ」を危機的に感じたことはなかった。二〇一一年三月一六日の一一時〇三分、私は宮城県亘理郡山元町役場の駐車場にいた。宮城の湘南<sup>しょうなん</sup>とも言われる海沿いの、のどかな街並みは一変し、すでに数日経<sup>た</sup>ついても、町役場の駐車場はパニック状態のままだった。私たち三人は二時間ほど前に、ボランティアさんに出してもらったオフロード車を「活動車」として、水・食料・灯油・ガソリンなどを積めるだけ積んで、日本海側から一泊二日で到着したところだった。町役場はひどく被害を受けており、隣接した公民館には一〇〇〇人を超える被災された方が避難されていて、災害対策本部はいまだに屋外の駐車場に設置された運動会のような仮設テントだった。山元町の友人と車を降りた私は、持参した物資の申告をした後で、災害対策本部のテントでの状況説明に立ち会っていた。電気も水道もいまだ復旧していない。何もかもが信じられないほど現実味がない、非日常的な朝の感覚を、今でも時々、思い出すことがある。

初めて会う人どうしが激論を交わし会うような、初めて経験する会議が終わって、ふと見渡すと、自分が乗ってきた「活動車」が駐車したはずのところになかった。ケータイのキャリアは臨時の中継車を配備しているはずで、役場近郊はつながるといふ情報を仕入れていたので、念のため当時日本でサービスしていた四キャリアをすべて揃<sup>そろ</sup>えてきたのだが、当時は、私の手元にある赤いドコモ以外はなかなか繋<sup>つな</sup>がらなかった。私たちの行動をトレースし最新情報を提供してくれている東京の仲間<sup>とも</sup>に電話をしようとして、先ほどまで確かに電波を拾っていたはずの赤いケータイ——私にとって東京との唯一の連絡手段——が、圏外になっていることに気がついた。

それまで東京を出てから、ほぼ二時間おきに東京の仲間が調べてくれる震災の情報を知り、まわりの方々々に提供してもらった。というのも、被災地の状況は被災地の方がわからないという現実があったからだ。電気も電波もないここでは、情報網は警察・消防・行政がもつものを除くと、限られたラジオ(まだ災害臨時コミュニティFMははじまっていなかった)とうわさ話しかなかった。つまり、絶対的に情報が断絶した

I

のような状態でもあったのだ。

そんな中で、「車」も「連絡手段」も失った私は、被災地では何の役にも立てない「弱者」だった。それこそそのまま両方を失ったら、私もここで、避難所に避難しなければ生きていけなくなる。自分を社会と接続するメディアが失われることの孤独さの深淵は、それを少し覗き見ただけで、

II

音が聞こえるほどだった。恐ろしすぎて仰ぎみた空からはまた、凍えるような雪が降っていた。

私たちは「情報強者」は情報リテラシーなどの能力が高い人で、「情報弱者」はその能力が低い人だと思いがちだ。しかしよく考えてみると、「強者／弱者」を、情報をうまく活用できているか、できていないかという観点でのみ考えてしまうと、もつとも重要な前提を見失ってしまっていることに気がつく。利用者や使用メディアがまったく同じであっても、自らではコントロールしづらい環境や状況によってその「強／弱」は<sup>(エ)</sup>テントウしうる。つまり、情報を活用できるかどうかは、第一に、テクノロジーや環境のありように大きく規定されているのだ。私たちは大半の情報を、スマホやパソコンといった情報端末や各種のメディアによって収集し処理している。自分が「情報強者」か「情報弱者」かは、その人の情報処理能力のみによって決まるのではない。その点、他の能力と大きく異なる。学力や運動能力といった能力と比べて、情報にかんする強者／弱者は、個人の努力や資質にかんするよりも、情報デバイスなどのテクノロジーや、そのメディアがどのように活用されるかという社会的条件の方が大きいのだ。

私たちが「情弱」という表現にうろたえる理由はおそらく二つある。現代を生きる多くの人が情報強迫性障害とも呼ぶべき、過度の「情報」至上主義にあるというひとつの理由は前章で述べた。もう一つは、「弱者」という論点にある。つまりそれが、誰でも得られる情報を手でできないという、個人の能力や資質に対する明確な否定になっていると、私たちが考えているからだ。

もちろん、ある情報を正確に把握したり、情報の背後に隠された意図を見抜けないといった判断力などを<sup>D</sup>抑<sup>や</sup>揄<sup>ゆ</sup>したりしている面は少なくないだろう。しかしそういった力そのものが養われたり発揮されたりするためにも、デバイスやメディアを使ったり学んだりできる環境や条件が揃っていることが大前提になることは疑いもない。本質的には、情報にかんする「強者／弱者」については、個人の生まれながらの資質や、何らかの努力の結果だけではなく、社会環境の方がむしろ重要なほどだと、いうこともできるのだ。

情報にかんする社会環境の差という概念であれば、もっと適切な表現がある。それは「情報格差」<sup>II</sup>「デジタル・デバイス」である。〈情弱〉論といわれてもピンとこないという人でも、本書が結局、デジタル・デバイドの議論であるといえ、わかってもらえるかもしれない。情報弱者／強者にかんする議論は、情報にかんする社会的な格差の問題として、まず考えられるべきなのだ。

モスバーガーらはデジタル・デバイドを、基礎的な面と経済や政治などの応用的面のいくつかに再整理して定義しているが、特筆すべきは、基礎的な定義として二層に注目している点である。そのなかで筆頭としてあげられているのが情報にアクセス可能かどうか(The access divide)である。次に情報を活用するスキルがあるかどうか(The skills divide)が挙げられているが、それも二つのポイントに分けて整理されている。The skills divideのポイントの一つは、いわゆる情報にかんするリテラシーだが、そしてふたつめとして、そのための社会的な支援が必要だと整理されている。このように、デジタル・デバイス論は、情報にかんする能力が、個人に属するばかりではなく、社会的に決まってくるということを説明している。

デジタル・デバイス論として整理してみると、〈情弱〉という単語にいただいた嫌悪感にわだかまることなく、<sup>オ</sup>見とおさなければならぬ論点があることに気がつくだろう。考えてみれば、実際に「情弱」の例として挙げられることが多い<sup>オ</sup>コウレイ者<sup>オ</sup>であっても、もし本当に情報弱者であるとしたらその原因は、本人に帰するのではなく、明確に環境に帰責されるはずであろう。

だから〈情弱〉論は、本当は社会環境の問題のほずなのに、それがすべて個人の属性として扱われているという意味での、「社会的弱者」の問題なのだ。これこそが私たちが〈情弱〉というチームにいだく嫌悪感の源泉である。

(柴田邦臣『情弱』の社会学 新装版 ポスト・ビッグデータ時代の生の技法』による)

問1 傍線部(ア)～(オ)に該当する漢字を含むものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

16

20

(ア) シン|プク

16

- a 両国がフカシ|ン|条約を結ぶ
- b 地域産業のシ|ン|コウに寄与する
- c シ|ン|シヨクを忘れて取り組む
- d 準備運動としてクツシ|ン|を行う
- e 清掃活動のホウシ|ン|を示す

(イ) カイ|ニユウ

17

- a 病がカイ|ホウに向かう
- b カイ|コンの念を抱く
- c 取引をチュウ|カイする
- d 該当者はカイ|ムだった
- e 相手をカイ|ジユウする

(ウ) アワ|てて

18

- a 金融キョウ|コウを危惧する
- b 父はハ|テン|コウ|な性格だ
- c 提案にシユ|コウ|しかねる
- d 契約を毎年コウ|シン|する
- e コウ|シツな印象の文章である

(エ)

テントウ

19

- a 美しい音色にトウスイする
- b 現実からトウヒしてしまふ
- c 敵軍をアットウする戦力がある
- d 全国トウイツをなしとげる
- e 議員がトウハを超えて協力する

(オ)

コウレイ

20

- a かつての名家がレイラクする
- b 保険のヘンレイ金を受け取る
- c ヨレイを聞いて席につく
- d 御神木のジュレイを調べる
- e 監督からゲキレイを受ける

問2 傍線部A・Dの意味として最も適当なものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

A

21

・ D

22

A はばかり

a ためられ

b 警戒され

c 迷惑がられ

d 不快に思われ

e 毛嫌いされ

D 揶揄したり

a 冗談を言って笑ったり

b 手厳しく批判したり

c 遠回しに皮肉を言ったり

d あてつけがましく非難したり

e からかってばかりしたり

問3 傍線部B「これは私が『情報強者』だからだろうか」とあるが、ここで筆者はどのようなことを言おうとしているのか。その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

23

- a 下山するまでは一片の情報も受け取らないつもりだったのに、山中にも電波が届いたせいで、自分だけの固有結界が破られたということ
- b 緊急時のつながりやすさを考慮してもう一台携帯電話を所持していたおかげで、クレジットカードの不正利用を防ぐことができたということ
- c 現代社会では自分の意思や能力に関係なく常時情報に包囲されているが、情報にアクセスするかどうかは本人が選択できるということ
- d 緊急連絡用の携帯電話を持っていたおかげで被害こそ免れたが、情報を遮断しようとしていたのだから、「情報強者」とは言えないということ
- e クレジットカード会社の監視体制のおかげで結果的に不正利用を防げたが、自分自身はまんまと他者に個人情報盗まれているということ

問4 空欄

い。 I 

24
----

 · II 

25
----

に入る語句として最も適当なものを、次の各群のa～eの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- |    |                              |   |      |   |       |   |      |   |                           |
|----|------------------------------|---|------|---|-------|---|------|---|---------------------------|
| I  | a 曖昧模糊 <small>あいまいもこ</small> | b | 暗模索  | c | 疑心暗鬼  | d | 五里霧中 | e | 四面楚歌 <small>しめんそか</small> |
| II | a ひざを打つ                      | b | 首が飛ぶ | c | 背筋が凍る | d | 目が回る | e | 肩を落とす                     |

問5 傍線部C「もつとも重要な前提」とはどのようなものか。その説明として最も適当なものを、次のa～eの中から一つ選びなさい。

26

- a 筆者が東日本大震災時に「情報弱者」に陥ったように、自らではコントロールしがたい状況によって簡単に「強者」が「弱者」に変わるということ
- b 「情報強者」か「情報弱者」かは、情報端末の有無や良好なインターネット環境の整備など、その人の情報収集能力にかかっているということ
- c 情報リテラシー能力は、学力や運動能力といった個人の資質と異なり、その人の生育されてきた環境によって格差が生じるものだということ
- d 情報を正確に把握したり情報の背後に隠された意図を見抜いたりできるようになるには、学校教育などで情報の使い方を学ぶ必要があるということ
- e 情報を活用できるかどうかを左右するのは、その人の情報処理能力以前に、情報が入手可能な場や状況が存在するか否かという条件であるということ

問6 筆者の主張を踏まえたとき、「デジタル・デバイド」の解消のために、どのようなことができると考えるか。あなたが「デジタル・デバイド」を感じた経験や見聞きしたことを含めて具体的に、二百字以内で解答用紙に述べなさい。

27

## 注 意 事 項 続 き

3 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。マークは**HB**または**B**の鉛筆（シャープペンシル可）で濃くマークしなさい。解答用紙を折ったり曲げたりしてはならない。

例えば 

2
---

 と表示のある問に対して **c** と解答する場合は、次の(例)のようにマークシートの**2**の**解答欄**の**c**にマークしなさい。

指定欄以外へマークした場合は解答が読み取れなくなる場合があるため、記入しないこと。訂正は、消しゴムできれいに消すこと。

(例)

(マークの仕方)

解答 番号	解答欄				
	a	b	c	d	e
1	(a)	●	(c)	(d)	(e)
2	(a)	(b)	●	(d)	(e)

良い例	悪い例
●	

4 マークシート式解答用紙に加えて記述式解答用紙の受験番号欄に受験番号5桁を記入しなさい。氏名を記入してはならない。

受験番号  
00603

看護学部志願者用  
 国語Ⅱ問⑥解答用紙

下書き用紙

書き

5 試験終了後には、志願者は問題冊子の上に記述式解答用紙を裏返し、その上にマークシート式解答用紙を裏返して置きなさい。解答用紙の回収後は監督者の指示に従うこと。

6 問題冊子は持ち帰ること。